



# 学校だより

新潟市立中之口東小学校 2025.11.27  
第391号 児童数110名  
ホームページ  
<https://www.kiranico.jp/>



## 読書が好きになるきっかけ

校長 小森 康貴

家で次のようなお子さんの姿を見たことはありませんか。

- ・「本を読みなさい」と言っても読書をしない。
- ・図書館から借りてきた本を1回も読まずに返す。

これは、小さいときの私の姿です。私は読書が大嫌いでした。親に名作と言われる本を買い与えられても最後まで読んだことはほとんどありませんでした。

しかし、あることがきっかけで小学校3年生から読書が大好きになりました。それ以降も読書の習慣は続いており、今でも近所の図書館から本を借りてきて毎日読書をしています。

読書嫌いだった私が読書をするようになったきっかけは、小学校3年生の時の担任による読み聞かせでした。その先生は、授業が少し早く終わったときに「813の謎（アルセーヌ・ルパンシリーズ）」というお話を読み聞かせしてくれました。このお話はとても長いので、連載小説のように何日もかけて読んでくれました。私だけでなくクラスのみんながお話を楽しみにしていました。

ある日、クラスメートが、学校の図書館で「813の謎」を見つけました。その噂は、すぐにクラス中に広まりました。私は、毎日のように図書館に行き「813の謎」があるか確かめました。しかし、人気があるため、いつも借りられていました。いつまでたっても借りられないでの、となりにある「三十棺桶島」という本を借りてみました。同じアルセーヌ・ルパンシリーズだったので、この本も面白いのではないかと思ったのです。この物語は、いつまでたっても主人公のルパンが出てきませんでした。途中で読むのをやめようかと思いましたが、物語の終盤に主人公が変装したルパンだったことが分かり、そのあと夢中になって一気に読み終えました。その後も、アルセーヌ・ルパンシリーズを順番に借り続け、「813の謎」以外はすべて読み終えました。すると、「シャーロック・ホームズ」や「怪人二十面相」のような他の推理小説も読みたくなりました。その後、推理小説に限らず面白そうな本を借りて読むようになり、読書の幅が広がりました。

私が、読書をするようになったのは、担任の先生の読み聞かせをきっかけに読書の面白さに触れたからです。そのきっかけをつくるのは私たち大人です。学校では、どんぐりの会の皆さんから読み聞かせをしてもらったり、読書週間を設定したりして、きっかけづくりに取り組んでいます。ぜひ、家庭でも、読み聞かせをしてあげたり、親が本を読む姿を見せたりして、きっかけづくりに取り組んでください。読書は学力向上にも大きな影響を与えるといわれていますので、取り組む価値は十分にあると思います。

話は戻りますが、「813の謎」は3月に借りることができました。図書館で「813の謎」を見つけた時の喜びと、「813の謎」を1日で読み終えた時の記憶は今でも鮮明に残っています。